

第8回BAアドバンスド・テクノロジー・サロン概要 (5/19)

テーマ: 「量子コンピューターはどこまで来ていて、何を変えるか」

講演者: 立花 隆輝 (たちばな りゅうき) 氏

日本アイ・ビー・エム株式会社 東京基礎研究所 副所長

卓話概要:

量子コンピューターは未来の技術と考えられてきましたが、もう今年にも一部の領域で従来のコンピューターを超える価値を提供することができるものとIBMでは予想しています。

この講演では、量子コンピューターが従来のコンピューターとどのように違うのか、また量子優位性とはどのような概念なのか、といった基本的な説明から始めます。そして、今後実現する機能を、IBMのロードマップに従って解説します。さらに、世界の先進的な企業における量子コンピューティング応用に向けたユースケースを具体的にいくつかご説明して、企業がどのような観点で量子コンピューティングにいち早く取り組むべきと判断しているかについても論じます。



略歴:

1998年～2022年、日本IBM 東京基礎研究所で音楽著作権保護、音声合成、音声認識、自然言語処理、Neuro-symbolic AI、そのほかの機械学習の研究に従事。同研究所でのAI研究全体をマネージし、WatsonブランドのAI製品のための研究開発を推進。

2022年～2024年、日本IBM 社長室にて部門横断的な複数のプロジェクトを推進。また同社AI倫理チームのメンバーとして「AI倫理教本」を共著。

2024年～現在、東京基礎研究所に戻りIBM Quantumで量子コンピューターの社会実装に関わる。